

■ 受験方法

試験当日、各時限の試験開始時に「WebTAMA」のカテゴリ「科目試験」より受験者へ問題を配信します。

試験問題の中から受験許可された科目を選び、各時限の10分前に配信される大学指定の答案作成用のテンプレートデータをダウンロードし、答案を作成してください。「WebTAMA」のタブ「科目試験／レポート」「科目試験答案提出」より、作成した答案データを添付し提出締切時間内に提出していただきます。

■ 認証コード（本人認証用）の取得・確認

試験当日、大学指定の顔認証アプリ（事前にスマートフォンまたはタブレットにダウンロードの必要があります。）より、顔認証による本人確認を行います。顔認証アプリにて本人認証されると、WebTAMAの「メール設定」に登録のメールアドレスに4桁の認証コードが届きます。そのコードを答案提出画面に入力してください。認証コードの取得方法については、「WebTAMA」のカテゴリ「各種資料（マニュアル等）」→「科目試験ガイド」に掲載しています。

■ 解答様式

添付される答案作成用のテンプレートデータ

- ・サイズ：WordデータA4
- ・フォント：明朝体
- ・文字の大きさ：10.5ポイント
- ・字数：特に指定はないが、原則1ページに収めること（1ページあたり約1,000字）
※字数の指定がある場合は問題文に記載されているのでその指示に従ってください。
- ※式や表を使用する一部の科目については、手書きや画像を取り込んだ答案データを作成し、Wordと同様に添付し提出してください。
- ※答案データにある必要入力事項（整理番号・科目コード・科目名・学籍番号・氏名等）は漏れ・間違いのないようお願いします。

■ 欠席または不合格扱い

以下の場合には欠席または不合格扱いとなります。

- ・未受験により答案の提出をしなかった科目（特に大学への連絡は必要ありません）
- ・答案データの添付漏れ
- ・答案データ（本文中）の無記名等、必要入力事項の未入力
※答案データは出力印刷されたものが教員へ採点としてまわります。

■ 受験結果

受験結果は、試験日より約3～4週間後に判明します。「WebTAMA」のタブ「科目試験／レポート」→「科目試験照会」にて確認してください。なお、単位の修得状況は「WebTAMA」のタブ「授業関連」→「履修関連」→「履修状況照会」で確認できます。「科目試験照会」画面の評価欄については次頁をご覧ください。

評価欄について

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	当該科目の到達目標の内容をほぼ完全に修得し、かつ応用する力がついていると認められる。
A	80～89点	当該科目の到達目標の内容を十分に理解し修得したものと認められる。
B	70～79点	当該科目の到達目標の基幹部分は理解し修得したものと認められる。
C	60～69点	当該科目の到達目標のうち、最低限の理解は得られたものと認められる。
F	0～59点	当該科目の到達目標に及ばない。

■ レポートと科目試験の関係

- (1) 単位は科目試験の合格とレポートの合格により認定されます。
- (2) 科目試験が合格し、レポートが「D」(再提出)の場合は、合格した試験日より1年以内にレポートを提出し、そのレポートが合格しないと科目試験の合格も無効となり、再受験しなければなりません。評価が「D」のレポートは継続的に学修を続け、2週間を目安に再提出してください。
- (3) 教員採用および在籍期限により3月末や9月末までに修得単位が反映された証明書が必要な学生は、レポートの添削に概ね30日程度を要しますので、3月末の場合は1月中旬、9月末の場合は7月中旬までに提出し合格しなければなりません。
- (4) レポートの合格は在学期間中においては年度を超えても有効です。

■ 単位認定について

科目試験評価	レポート提出状況	単位認定	
S～C	合格	認定	
S～C	提出済	保留	レポートの返送を待ってください。
	D(再提出)		レポートを再提出してください。
F	合格	認定せず	科目試験を再度受験してください。
F	D(再提出)	認定せず	レポートを再提出、科目試験を再度受験してください。

■ 参照物の取り扱い

テキスト等(インターネットを含む)の参照は不可とはしておりません。ただし、答案作成時にテキスト等を引用する場合は、レポート作成時と同様に引用の表記を必ず行い、引用であることを明確に示してください。引用表記のない答案は、減点対象になることがあります。

■ 受験上の注意

- ・不正行為防止の観点により、試験中に他者が同室にいないようにしてください。
- ・一度提出操作を完了すると時間内であっても、修正、再提出はできません。
- ・答案の作成の途中でも終了時間になると提出ができなくなります。
- ・受験者の環境不調(通信トラブル)が原因で正しく受験できなかった場合は、再受験や時間延長の対応はできません。
- ・大学のシステム上の問題により、受験できなかった場合は、代替の対応を検討させていただきます。